

医療教育でのVR技術（実習の進捗発表（ジュニア（  
大学1～3年生），新規発表））

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-08-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 森田, 匠真, 藤本, 奈緒, 片山, 裕太郎, 柴田, 昌平 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10297/00028306">http://hdl.handle.net/10297/00028306</a>

## 医療教育での VR 技術

森田匠真（静岡大学情報学部情報科学科），  
藤本奈緒（静岡大学情報学部行動情報科），  
片山裕太郎（静岡大学情報学部情報科学科），  
柴田昌平（静岡大学情報学部情報社会学科）

近年，情報技術が発達し，スマートフォンなど一般人にまで普及した媒体に留まらず，様々な分野に置いてその技術が活用されている．その中でも医療分野における情報技術の進展は，近い将来での多様な医療技術への応用が期待されている．我々はその中でも VR 技術を利用した臨床医療実習について着目し，文献検索を元に今後の展望を推測した．鈴木（2001）によると，1970 年代後半より，CT 画像の三次元画像化が研究される中，応用面の一つとして生まれた手術シミュレーションの技術が次第に発達し，1990 年代後半から VR 技術の採用の検討が始まったとされる．2001 年には，VR 技術と医療画像技術が結合した診断・治療技法が各国で研究され，関与する研究機関や人員も年々増加し，関連学会で医療バーチャルリアリティという言葉が定着していた．従って，10 年後の VR 事業はさらに発展し，より多くの教育場面で導入されていくと考えられる．

<関連実習科目>

PBL 演習